

## 百寿のお祝い 遠藤みさをさん(㊟一區)



8月25日(金)に百寿を迎えた遠藤みさをさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。好き嫌いがなく、なんでも食べるそうで、普段は塗り絵や脳トレをして過ごしているそうです。お若い頃は仙台でお仕事をしていたみさをさん。百寿の秘訣を聞くと、定期的に散歩をしたりして、とにかく毎日楽しく暮らしていることだと話してくれました。お子さんが4人、お孫さんが4人、ひ孫さんが4人いらっしゃるそうで、ご家族もきっとご長寿を喜んでいることでしょう。みさをさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

## 百寿のお祝い 菅原やい子さん(㊟西田)



8月26日(土)に百寿を迎えた菅原やい子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。普段はテレビを見て過ごしているそうで、編み物が好きだそうです。お若い頃は漁業に従事していたやい子さん。一番の思い出を聞くと、とにかく仕事を頑張ったことが思い出だと話してくれました。お子さんが3人、お孫さんが11人いらっしゃるそうで、ご家族もきっとご長寿を喜んでいることでしょう。やい子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

## 13回忌の節目を迎えて



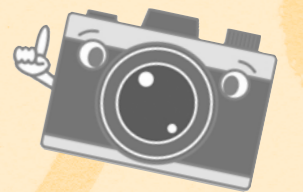
8月16日(水)、志津川地区田尻畑の大雄寺で、東日本大震災で流出し、ボランティアの皆さまによって探し出された写真のうち、持ち主の元へ返すことができなかった写真をお焚き上げしました。

お焚き上げする写真は、約11万枚、段ボール50箱分に上り、家族写真や学校の卒業式などの様々な思い出を収めた写真になります。

今回お焚き上げた写真は、全体の3分の1ほどで、年内中に残りの写真もお焚き上げを行います。

町長は「写真の収集に協力いただいたボランティアの皆さま、自衛隊の皆さまに改めて感謝したい。」と話しました。

この写真はデータ化されているため、確認したい人は南三陸町社会福祉協議会までお問い合わせください。



## 恒久平和を願って

8月19日(土)、南三陸町総合体育館で令和5年度戦没者追悼式を挙行了しました。

新型コロナウイルスの影響で過去3年は自由献花方式でしたが、今年は4年ぶりに式典方式で実施しました。多数のご遺族が参列され、戦争で亡くなった848名のご冥福を祈りました。

町戦没者遺族会長は「大戦以来、一時も戦没者の皆さまを忘れることなく暮らしています。二度とあのような戦争は起こさない、起こさせないとの気持ちで遺族会の行事を続けています。」と追悼の辞を述べました。



## 新たな歴史の幕開け

9月1日(金)株式会社89ERSの志村代表取締役社長をはじめとするチーム関係者が南三陸町を訪れました。株式会社89ERS様はバスケットボールを通じ、町内小中学生との交流や町内でのトレーニングキャンプの実施など、様々なかたちで南三陸町を訪れています。

今回、南三陸町総合体育館の愛称が「ベイサイドアリーナ」から「仙台89ERSベイサイドアリーナ」となったことから、入口に新しく看板を設置し、除幕式を執り行いました。

南三陸町では、野球、サッカー、そしてバスケットボールと、県内のプロスポーツチーム名を愛称とする施設が3施設となりました。これにより施設の利用促進、それに伴う健康の増進、さらにはスポーツ振興が期待されます。



## ふるさとに思い馳せる

8月26日(土)、道の駅「さんさん南三陸」特設会場で第1回南三陸かがり火祭りが開催されました。このかがり火祭りでは、東日本大震災で途絶えていた灯ろう流しが13年ぶりに行われ、訪れた人たちは震災前の記憶をたどりながら、灯ろう流しの様子を見守っていました。自分で組み立ててメッセージを書き込むことができるこの灯ろうには、家内安全や日頃の感謝などの様々な想いが込められていました。

祭り会場では、飲食店の出店が軒を連ね、護岸にはかがり火が並び、特設ステージでは郷土芸能などの披露が行われました。

訪れた人たちは、過ぎゆく夏と在りし日のふるさとに想いを馳せていました。